

10 申込み方法

(1) 【大阪府内会員の方】

校種団体ごとに所定の参加者名簿をメール添付で大阪府支部にお申込みください。以下の大阪府支部ホームページ https://www.nkk-osakafu.jp にアクセスして事務局ブログの大会参加申込書をダウンロードして、メール添付で送信してください。

(2) 【各都道府県の支部または団体】

申込みを集約していただき、以下の大阪府支部ホームページ https://www.nkk-osakafu.jp にアクセスして事務局ブログの大会参加申込書をダウンロードして、メール添付で送信してください。



(3) 【一般の方】 右のQRコードまたはFAX:06-6777-3121

大会事務局	日本教育会大阪府支部 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館408号 TEL:06-6768-5552 FAX:06-6777-3121 E-mail: o-jeo408@friend.ocn.ne.jp
-------	--

11 参加費納入

(1) 参加費（会場参加、オンライン参加ともに同額）**2,000円**

※申込み受付後は返金できませんので御了承ください。

(2) 振込先 三菱UFJ銀行 上本町支店

店番:046 普通預金:4564890 日本教育会大阪府支部



12 申込み・振込み締切日 **令和7年7月22日(火)**

13 会場・交通案内

会場:大阪工業大学 梅田キャンパス 常翔ホール
<会場へのアクセス>

- JR大阪駅 御堂筋北口から徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線 梅田駅から徒歩5分
- 阪急電鉄 梅田駅から徒歩3分

14 大会に関する問い合わせ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目5-28 ナーベルお茶の水
 公益社団法人日本教育会事務局 宛
 TEL:03-5803-9707 FAX:03-5803-9708 E-mail:nkk@nihonkyouikukai.or.jp

※FAX送信する場合は、切り取らずにご使用ください FAX:06-6777-3121

令和7年度全国教育大会大阪大会		参加申込票		令和7年 月 日	
都道府県名	参加方法	会場参加 (該当を○で囲む)		オンライン参加	
氏名	勤務先	職名			
勤務先住所	〒() TEL()				
Eメールアドレス					
※質問事項があればお書きください。					

会員各位

公益社団法人日本教育会会長 鷺山恭彦
 日本教育会全国教育大会会長
 日本教育会大阪府支部長 田中保和
 大阪大会実行委員長



公益社団法人 日本教育会
 令和7年度 第50回全国教育大会

大阪大会の御案内

初夏の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、公益社団法人日本教育会第50回全国教育大会大阪大会を以下の開催要項により開催いたします。

日本では、少子高齢化や人口の減少、社会のつながりの希薄化、国際的地位の低下、グローバル化への対応などが社会の課題となっています。また、生成AIをはじめとする最先端の技術の発展は、社会のあり様を根本から変えていく可能性が高くなっており、一方、国際社会では分断が進むとともに、国際武力紛争の継続をはじめ、対応を間違えるとさらなる紛争に発展しそうな事案が各地で影を落としており、日本でも対岸の火事と座視できない状況です。

こうした時代にあっては、自ら主体的に目標を設定し、責任ある行動がとれる力を身に付けることが重要です。自ら問いを立て、自らの頭で考え判断し表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、みんなが納得できる「納得解を生み出す能力」などが求められます。

また、豊かな情操や規範意識、自他の生命尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、人間関係を築く力などはどのような時代にあっても重要です。これらの資質・能力を子供たちが育んでいくためには、確かな子供理解を深めながら、体験的な活動を重視し、子供自らがコミュニケーションを取りつつ学び続ける教育実践が求められます。

本大会はこのような考え方を基本にして、子供たちが自ら判断し表現する力を育成するため、大会主題を「自らの頭で考え判断し表現する力を育てる教育」といたしました。

なお、今年度からは現地でも多数の人々が参加できるよう、ハイブリッド方式を取り入れた大会になります。会員の皆様には、本大会の趣旨をご理解いただき、わが国の子どもたちのよりよい成長を確かなものにすべく、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

開催要項

大会主題「自らの頭で考え判断し表現する力を育てる教育」

- 1 日時 令和7年11月1日(土曜日) 12時40分～16時40分
- 2 会場 大阪市 大阪工業大学梅田キャンパス 常翔ホール (JR「大阪駅」御堂筋北口から徒歩5分)
〒530-8568 大阪府大阪市北区茶屋町1-45 (電話番号:06-6147-6830)
- 3 参加方法 会場参加 及び オンライン参加
- 4 主催 公益社団法人日本教育会
- 5 主管 日本教育会 大阪府支部
- 6 後援 文部科学省・大阪府・大阪市・堺市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会
堺市教育委員会・大阪府都市教育長協議会・大阪府町村教育長会

7 日 程

12:00	12:40	13:00	14:40	14:50	16:30	16:40
受 付	開会式	大会趣旨説明 提 言	休憩	記念講演	閉会式	片付け

(1) 開会式

- ① 開式のことば 司会者
- ② 国 歌 斉 唱
- ③ 挨 拶 大会会長（公益社団法人日本教育会会長）
- ④ 祝辞・祝電披露 司会者
- ⑤ 閉式のことば 司会者

(2) 大会趣旨説明及び提言

- ◇ 趣旨説明 公益社団法人日本教育会研究推進委員長
- ◇ 提 言

幼稚園・こども園	岩手県北上市立黒沢尻幼稚園	園 長	山本ゆかり 氏
小 学 校	鹿児島県垂水市立新城小学校	校 長	有村 重輝 氏
中 学 校	大阪府堺市立庭代台中学校	主幹教諭	苅野 大志 氏
高 等 学 校	和歌山県立紀北工業高等学校	校 長	阪中 潤 氏
特別支援学校	新潟県立はまぐみ特別支援学校	教 諭	佐々木 歩 氏
家庭・地域社会	熊本県魅力推進生徒会		
	熊本県熊本市立必由館高等学校	3年生	舩本 靖渚 氏
		3年生	高木 春花 氏

・・＜ 休 憩 ＞・・

(3) 記念講演

演 題 「AI時代の教師が知っておくべきこと」
講 師 兵庫県立大学 教授
竹内和雄 氏

(4) 閉会式

- ① 開式のことば 司会者
- ② 挨拶・謝辞 大会実行委員長
- ③ 閉式のことば 司会者

8 参加について

- (1) 会 場 参 加（500名） 大会運営関係者、全国の参加希望者
- (2) オンライン参加（400名） (1)以外の参加希望者
- ※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

9 大会主題

「自らの頭で考え判断し表現する力を育てる教育」

現代は変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来となっている。また、グローバル化や情報技術が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革、人工知能（AI）やロボットの発達により、問題発見力、的確な予測、革新性といった能力が今後一層求められることが予測されている。特に生成AIは人々の暮らしや社会に大きな変革をもたらす可能性があることや活用上の課題も指摘されている。

こうした時代にあっては、自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付けることが重要である。自ら問いを立て、自らの頭で考え判断し表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、みんなが納得できる「納得解を生み出す力」などが求められる。

また、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力などは、どのような時代であっても変わらず重要である。

さらに、一人一人の子供が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓いていくことも大切である。自己の興味・関心やキャリア形成と関連付けて生涯にわたって学び続けていく力を身に付けていく必要がある。

これらの資質・能力を育むためには、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び思考力・判断力・表現力等や探究力、粘り強く学習に取り組む態度等の育成が欠かせない。

それには多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現することや自らの学びに向けた主体的な活動への意欲をもたせることが大切である。また、リアルとデジタルを融合した授業づくりに取り組むこと、地域や企業と連携・協働して体験活動の機会を充実させることなども重要である。

しかしながら、学校教育の現状を見ると、学ぶ意欲やチャレンジ精神、柔軟で豊かな感性や思いやりの心の育成など、人間関係の在り方や自己肯定感・自己有用感の高揚に課題が生じている。

私たち学校教育に携わる者は、確かな子供理解を深めながら、探究・体験的な活動を重視し、主体的・対話的で深い学びを充実させ、次のような教育を積

極的に推進することが大切である。

幼稚園・こども園では、自ら表現したものを相手に受け止めてもらう喜びを通して、安心して自分の思いを表現する体験を積み重ねていく。また成長に応じた多様な体験を通して自分で取り組み、知る楽しさ、考える楽しさを基盤に表現する力を育む。

小学校では、各教科等において問題解決的な学習を通して協働的に探究し、自ら考え判断し表現する力等を育成する。また、教育活動全体で豊かな感性や他者への思いやり、多様性を受容する力等の育成に努める。さらに、地域や社会とつながる社会体験活動を通じて主体的に社会の形成に参画する意欲や態度を養う。

中学校では、各教科等において探究的な学びや体験活動を通して情報の真偽を見極め、物事を批判的に考察する力や自ら問いを立て課題を解決する力を育成する。

また、対話や議論を通じて互いの多様な考えを理解するとともに、自分の考えや感情を適切に表現し、多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力を育み、豊かな人生を切り拓いていく生徒を育てる。

高等学校では、教育内容及びカリキュラムの設定、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を行うことにより生涯を通じて能動的に学び続ける態度を養う。

探究においては、課題の発見及び解決に向けた主体的な思考の過程を重視し、キャリア教育につなげる取組を視野に入れ、よりよい社会を創る生徒を育成する。

特別支援学校では、学習活動を通して自己肯定感、自己有用感の獲得を目指し、可能性に前向きに向かう意欲的な幼児・児童・生徒を育てる。個々の特性に応じたキャリア教育を重視し、成功体験を通して自信と意欲を高め、変化する社会生活の中で直面する事態の理解や、支援を受けながら課題を解決する力を育む。

家庭・地域社会では、家族の絆や地域づくりに一層努めるとともに、学校と相互に連携・協働して子供たちの成長を支える環境を整備する。また、多様な人材や社会教育施設、企業等の地域資源の積極的な活用を通して、実社会における課題解決学習や協働的でリアルな体験活動により、自ら考え判断する学びの機会を充実させる。